

GEIDAI ARTS SPECIAL 2012

障がいとアーツ

～韓国から障がい者アーティストを迎えて～



金子小波

12月1日 土 - 2日 日



題字:金澤 翔子、写真:李 龍淵「2011心で見る世界」展

2012年12月2日 日 15:00 開演 (14:00 開場) 東京藝術大学奏楽堂 (大学構内)

<コンサート> 15:00-

- C.M.v. ウェーバー 《クラリネット協奏曲 第1番》へ短調 作品73
- キム ヒジョン 金 姫延 《風あってこそ》手話とオーケストラのための (世界初演)
- ホン スンヒ 洪 承希 《四仙舞》サムルノリとオーケストラのための (世界初演)
- 吉松 隆 NHK大河ドラマ「平清盛」テーマ～金澤翔子を迎えて～
- P.I. チャイコフスキー 組曲《くるみ割り人形》作品71より

展示会

韓国の視覚障がい者たちによる写真展「心で見る世界」、ダウン症女流書家・金澤翔子の作品、筑波大学附属大塚特別支援学校と藝大生との共同制作作品及び立体作品、NPO法人あいアイ「絵画」の展示

12月1日 土 14:30-17:00 2日 日 12:30-17:30 奏楽堂ホワイエ
 12月1日 土 14:00-17:30 2日 日 12:30-14:00, 17:00-18:00 音楽学部第1ホール

入場無料 (要整理券)

チラシ中面を参照の上、往復ハガキでお申し込みください。整理券は申し込みハガキ到着後、随時発送します。(締め切り:11月26日必着)

- クラリネット: 李 相宰 (イ サンジェ)
- 手話: 朴 英淑 (パク インスク)
- サムルノリ: タムティ (Tamti)
- 揮毫: 金澤 翔子
- 管弦楽: 藝大フィルハーモニア
- 指揮: 鄭 致溶 (ジョン チヨン)



<プレ・コンサート> 14:15-

日本舞踊 筑波大学附属大塚特別支援学校児童と東京藝術大学学生有志

*出演者・曲目・スケジュール等は都合により変更となる場合がございますので、ご了承ください。

お問い合わせ: 東京藝術大学演奏芸術センター Tel.050-5525-2465
東京藝術大学ホームページ <http://www.geidai.ac.jp>

主催: 東京藝術大学 企画・運営: 東京藝術大学演奏芸術センター 助成: 芸術文化振興基金
協賛: Kao Canon 協力: 韓国文化体育観光部, 筑波大学附属大塚特別支援学校, NPO 法人あいアイ, (株)イワムラ紙工 後援: Asia Society, 駐日韓国大使館, 韓国文化院, 台東区, (財)日本ダウン症協会

GEIDAI ARTS SPECIAL 2012

12月1日 土 - 2日 日 東京藝術大学奏楽堂及び第1ホール(大学構内)



共同作品「蝶」の作業の様子



あいアイ作品展より



昨年度のプレ・コンサートより



「2010心で見る世界」展より



あいアイ作品展より



昨年度の障がいとアート展より



昨年度のプレ・コンサートより



あいアイ作品展より



「2010心で見る世界」展より



東京藝術大学奏楽堂及び第1ホール(大学構内)

交通のご案内

- ◆ JR上野駅(公園口)・鶯谷駅(南口)より徒歩10分
- ◆ 東京メトロ千代田線根津駅より徒歩10分
- ◆ 京成線上野駅、東京メトロ日比谷線・銀座線上野駅より徒歩15分
- ◆ 台東区循環バス「東西めぐりん」
 - ② 上野駅・上野公園から(東京芸術大学経由)
 - ⑤ 東京芸術大学下車[30分間隔]

※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8



あいアイ作品展より

藝大アーツ・スペシャル 2012

東京藝術大学演奏藝術センター企画「藝大アーツ・スペシャル」では、障がい者の方々と一般の方々が分け隔てなく楽しむことの出来る空間を提示し、現代社会に適合したアートの可能性を探求しています。本企画は、より多くの障がい者の方々の音楽、美術作品をご紹介します、芸術が障がい者の方々に夢を与える社会のあり方を考察することを目的としています。

今回は、韓国で芸術活動を続ける障がい者と関係者を招聘します。視覚障がい者たちが表現する写真に取り組む梁淙勲教授、あらゆる障がいと芸術の姿を追求する金姫延教授らを中心に、

障がいとアーツの枠を超えた豊かな芸術表現をご鑑賞ください。

日本からは、NHK大河ドラマ「平清盛」の題字を書いたダウン症の書家・金澤翔子さんの「書」、筑波大学附属大塚特別支援学校児童・生徒たちと東京藝術大学との共同研究による舞台と美術作品、NPO法人あいアイの人たちの優れた絵画作品などが展示されます。人間に与えられた芸術という表現方法は、いつの時代も変わることなく世界の人々に生きる力と勇気を与えてくれます。「藝大アーツ・スペシャル」は、障がいを越えた芸術の素晴らしさに今後も着目していきます。

コンサート 奏楽堂 12月2日(日)15:00～

今回の演奏会には、我々の企画に賛同してくれた韓国の演奏家たちが参集してくれました。視覚障がいを持つクラリネット奏者・李相宰教授は、演奏活動の傍ら韓国ナザレ大学で後進の指導にもあたっておられます。今回はもっとも得意とするウェーバーの《クラリネット協奏曲第1番》を演奏します。続く作品《風あってこそ》は、祥明大学校音楽大学の金姫延教授の手話とオーケストラのための新作です。“見える音”を表現した新たな試みとして期待が高まります。サムルノリとオーケストラのための《四仙舞》は、東京藝術大学で学んだ新進気鋭の作曲家、洪承希さんの新作です。韓国の伝統打楽器アンサンブルのサムルノリを演奏するのは、知的障がい者と身体障がい者が一緒に活動する演奏団体・タムティです。彼らの躍動感あふれる演奏にご注目ください。

後半には、今年のNHK大河ドラマ「平清盛」の題字を書いたことで一躍注目を集めた金澤翔子さんをお招きします。深い祈りから表現する「書」には、清らかな心の世界が見えてきます。

すべての障がいを越えた真の芸術を沢山の方々にご紹介したいと考えたこの「藝大アーツ・スペシャル2012」では、最後にチャイコフスキーの組曲《くるみ割り人形》を演奏する際に、障がいをもつ方々にオーケストラ奏者の間に座っていただき、オーケストラと一体となって、音楽のもつ力を体験していただきます。この企画に賛同して下さった指揮者で韓国芸術総合学校の鄭致溶教授と藝大フィルハーモニアが織り成す音の世界をどうぞ、ご堪能ください。

プレ・コンサート 奏楽堂 12月2日(日)14:15～

筑波大学附属大塚特別支援学校と東京藝術大学学生有志による
日本舞踊 《さくら》《関の小万》《元禄花見踊》

日本舞踊指導：木村直弥、津野文華
長唄：横山沙永子、伊藤薫子
三味線：渡部進、藤井愛生、小澤創也
箏：松澤佑紗、山水美樹
笛：橋口瑞紀
ヴァイオリン：國信佐和
編曲：黒田崇宏
ほか



昨年度のコンサートより(ヴァイオリン独奏:和波 孝福)

【コンサートの申し込み方法】

下記の要領で往復ハガキにてお申し込みください。申し込みハガキは到着次第、随時整理券を発送します。

当日の入場は先着順、自由席ですので、発送した整理券をお持ちの上、お時間に余裕を持って会場にお越しください。

※満員の場合、入場出来ない場合がございます。

申し込み締め切り:2012年 **11月26日(月)必着**

《申し込みハガキ記入例》

往信側	返信側
〒110-8714	
東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学 演奏藝術センター 「藝大アーツ・スペシャル」係	返信側には何も 記入しないでください

返信側	往信側
整理券ハガキの 送り先を ご記入ください	※注 ①希望人数:2人まで ②郵便番号とご住所 ③お名前 ④電話番号 (ご連絡のとれる番号)

※注:障がい者・保護者の方につきましては、お席を確保する予定ですので、その旨をお書き添えください。

展示会

奏楽堂ホワイエ 12月1日(土) 14:30~17:00
12月2日(日) 12:30~17:30

- ◆ 韓国の視覚障がい者たちによる写真展「心で見る世界」
- ◆ ダウン症女流書家・金澤翔子の作品
「共に生きる」「花」「般若心経」「平清盛」ほか

第1ホール 12月1日(土) 14:00~17:30
12月2日(日) 12:30~14:00, 17:00~18:00

- ◆ 筑波大学附属大塚特別支援学校の生徒たちの立体作品
- ◆ NPO法人あいアイ: 絵画
- ◆ 筑波大学附属大塚特別支援学校と藝大生との共同制作作品
「色舞奏」 企画制作: 野澤聖

NPO法人あいアイ

障がい者と一般の方々が一体となって絵画表現に取り組んでいる「あいアイ」の人たちの優れた作品がいくつも展示されます。その場に行って見たものを表現する彼らの画法からは、よりリアルな感動が伝わってきます。

筑波大学附属大塚特別支援学校の生徒たち

昨年に引き続き、大塚特別支援学校の生徒さんたちと一緒に作品を作りました。立体作品「色舞奏」の力強い表現にご注目ください。

金澤翔子の書の世界

ダウン症の書家・金澤翔子さんの書には、祈りの世界が生まれてくる奥深い表現があります。彼女の「共に生きる」「花」「平清盛」などのダイナミックな書をご覧ください。



共同作品「蝶」昨年度の障がいとアート展より

ワークショップ

①「障がい者から学ぶアート」

講師: 宮廻 正明 (画家/東京藝術大学教授)
12月1日(土) 14:00~15:00
第1ホール

NPO法人あいアイで顧問を務め、長年にわたって障がい者の芸術表現に関わってきた宮廻教授は、「芸術の世界には障がい者から学ぶものが多い」と力説します。今回は、〈あいアイ〉の人たちの絵の解説とともに、自論「障がい者から学ぶアート」を語ります。



②「視覚障がい者のための写真教室」

講師: 梁 涼助 (カメラマン/祥明大学教授・韓国)
12月2日(日) 12:30~14:00
奏楽堂ホワイエ(100席・見学可能)

韓国の視覚障がい者の写真教室は、「心で見る世界」展のために開かれてきた授業です。今回は、視覚障がい者たちが障がいを乗り越えて、内面の目・心の目で世界を見ようと撮影した世界を展示します。写真は技術より美しさを楽しむ心が大切だということをご理解いただければと願っています。



ミニ・コンサート & シンポジウム

12月1日(土) 15:00~17:00 奏楽堂ホワイエ(100席・入場無料)

ミニ・コンサート①「障がいと音楽」 15:00~15:30

- ◆ 李 相宰 (視覚障がいのクラリネット奏者/ナザレ大学教授・韓国)
- ◆ 朴 惠榮 (ピアニスト/韓国)

A. テンブルトン 《クラリネット・ソナタ第2番》
G. ガーシュウィン クラリネットとピアノのための《ポーギーとベス組曲》より
〈うちの人は逝ってしまった〉 〈サマー・タイム〉 〈必ずしもそうじゃないぜ〉

シンポジウム「障がいとアートの未来」 15:30~16:30

- ◆ パネリスト: 金 姫延 (作曲家/祥明大学教授・韓国)
- 梁 涼助 (カメラマン/祥明大学教授・韓国)
- 正木 隆 (彫刻家/筑波大学附属大塚特別支援学校教諭)
- 宮廻 正明 (画家/東京藝術大学教授)
- ◆ 司会: 松下 功 (作曲家/東京藝術大学教授)

芸術家として多方面に活躍する4人のパネリストたちと共に、「障がいとアートの可能性を探求します。「障がいを超えた芸術」の魅力と、その表現の可能性と未来について、それぞれの立場から意見を交換します。

ミニ・コンサート②「タムティと遊ぼう」 16:30~17:00

- ◆ タムティ (Tamti)
- 障がい者のサムルノリ (伝統打楽器アンサンブル)/韓国

12月1日(土)

時間	奏楽堂ホワイエ	第1ホール
12:30		
13:00		
13:30		
14:00		
14:30		ワークショップ①
15:00	ミニ・コンサート①	
15:30	シンポジウム	展示会
16:00		
16:30	ミニコンサート②	
17:00		
17:30		

12月2日(日)

時間	奏楽堂	奏楽堂ホワイエ	第1ホール
12:30			
13:00		ワークショップ②	展示会
13:30			
14:00			
14:30	プレ・コンサート		展示会
15:00			
15:30	障がいとアートのコンサート		
16:00			
16:30			
17:00			
17:30			展示会

SCHEDULE